

# 松浦民報

2012年11月

発行 日本共産党松浦市委員会 電話・FAX 0956-75-1947  
ブログ「ゆう子のひろば」<http://pub.ne.jp/yukoya/>  
日本共産党松浦市委員会の見解を紹介します。



## 日本共産党松浦市議会議員 安江ゆう子の 市議会だより



原子力規制委員会への申し入れ  
11月6日

日本共産党の安江ゆう子市議は定例9月市議会で、「松浦市原子力防災避難行動計画」と市営住宅の駐車料問題、太陽光発電の助成制度について一般質問を行いました。

### 原発事故の避難計画は迅速、正確、市民が一日でわかるように

## 一番の安全は原発をなくすこと

今年の夏は猛暑。市民も「節電」の努力をしましたが、原発が動かなくても電気は十分足りていることが証明されました。

安江ゆう子市議は、「福島原発事故で、いまなお16万人以上の人人が福島県内外に避難を続けて、原発事故は地域や家族をばらばらにし、事故の収束の見通しもたっていません。今こそ原発からの撤退を決断するとき」とのべて、質問に入りました。

安江 原子力防災避難行動計画地区別住民説明会が、7

月24日から8月30日まで行われましたが、市民への説明が達成されましたか。

総務課長 市内9カ所で4

20人に方に出席いただいた。今後、避難行動計画をふまえたわかりやすいパンフレットも用意しておりますので、そういうものも含め、ご理解を深めていきたい。

安江 会場で出された質問

に、「事故が発生した場合に、どれくらいの時間で放射能が到達するのか」とありました

が、放射能が漏れ始めたらどうなるのですか。

総務課長 事故発生の定義に「10条通報」というものがあります。この10条通報とは、原発敷地内で1時間あたり5マ

イクロシーベルト放射性物質が放出されたときに、電力事業者から松浦市、県、防災機関に通報がある。その時が事故発生時点だと認識し、松浦市の災害警戒本部も立ち上げる。

安江 説明会場で「10条通報のとき、ご心配なら自主避難をしてください」と言われましたが、どういうことですか。

安江 実際に1時間しかな

いんだつたら、市民はどうしようよって、お財布は、子どもはどこにいるのと、そういう時間が1時間ではないです

で、秒速10メートルは1時間あたりで、36キロとなり、全市に影響がでると考える。

安江 実際に1時間しかないんだつたら、市民はどうしようよって、お財布は、子どもはどこにいるのと、そういう時間が1時間ではないです

で、「御厨、星鹿から来られた方は、教養娯楽室の14畳の畳3室と、ふれあいホールの畳14畳」とおっしゃいました。180人ぐらいしかやすめないですよ。他は外の駐車場が広いので、車はそこにおることはできるでしょうが。

## 安江ゆう子市議が政府に直に申し入れ

安江ゆう子市議は11月6日、7日、原子力規制委員会に玄海原発問題で申し入れをしてきました。

安江市議は、「玄海原発で一旦事故が起きれば、松浦市に住めなくなる。だから原発はなくして欲しいというのが松浦市民の声です」とはつき

り主張して、玄海原発の再稼動の中止を求めました。

また松浦市が進める東彼杵3町への避難計画について実情を説明すると、原子力規制委員会は次のように答えました。

安江ゆう子